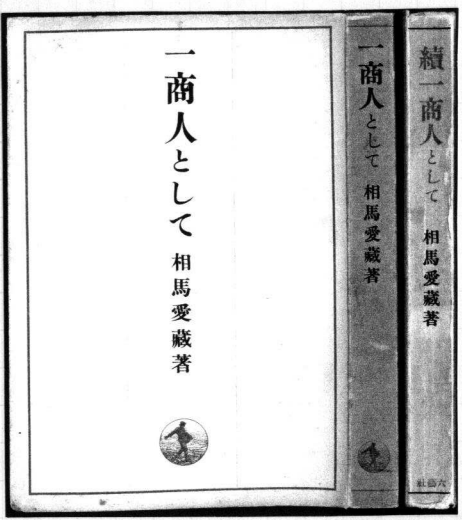
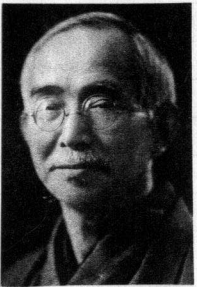


相馬愛蔵 さくらま あいぞう 企業家。明治二年十月、二十五日信濃國穂高生れ、昭和二十九年一月十四日歿（八七〇—九五四）。明治二十二年東京専門学校卒。歸郷して専ら養蠶業を研究、『養蠶種製造論』、『秋蠶飼育法』を著し、後者は五萬部を賣りたといふ。二十一年星良（黒光）と結婚。三十四年東京本郷にパン製造小賣店中村屋を創業、のち新宿の支店。カリーライス、中華饅頭、月餅等の商品により業績を伸ばす一方、妻黒光を中心に集ふ萩原守衛、中村麟、エロシエンユ、R・B・ボース等を側面から援助した。

他に、『素人の店頭學—増補商店經營—二十年』（昭和十一年七月）二十五日トウシン社）、『一商人として』（昭和十二年七月）二十五日岩波書店）、『續一商人として』（昭和十五年一月）二十日八藝社）等。



續一商人として 相馬愛蔵著

一商人として 相馬愛蔵著

一商人として 相馬愛蔵著

